

ふると じまん

わたしのお気に入り



千葉県 市原市



工業地域と
豊かな自然

浅野裕之
(平成9年卒)

2



1,2 (国分尼寺の
回廊と灯籠)

の場所には資料館があり、上総国分尼寺の中門と回廊、金銅製の灯籠が再現され国指定史跡となっています。

それに因み、市の中心の公園では「上総いちほら国府祭り」が毎年開催されます（令和2年・令和3年はCOVID-19感染拡大防止により中止）。市原市の歴史に由来する「更級日記」の旅立ちの行列や、源頼朝の武者行列を表現した「時代絵巻行列山鉾・山車の巡業」が行われ、上総国分寺の七重塔を模した山車と山鉾が巡行し、祭りのオープニングを飾ります。

広大な土地の中に様々な表情がある、市原市の紹介をいたします。

市原市は千葉県内において市町村最大の面積を持ち、人口27万人で県内では6位の人口規模となっています。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、飛鳥・奈良時代には上総国府が置かれ、政治の中心地として栄えてきました。現在、そ

3 山車と山鉾





4 石油化学コンビナート 5 海釣り公園

市原市は北部と中部・南部で表情が全く異なります。

北部はJR沿線にベッドタウンが広がっています。また東京湾に面して、製鋼業、石油化学工業などの大規模な工場が集積している京葉工業地域が連なっており、工業地帯製造品出荷額は全国2位を誇ります。近年では工場夜景の撮影地としても有名のようです。

東京湾に注ぐ養老川河口には海釣り公園があり、遠くに幕張新都心を眺めながら釣りを楽しむことができます。

中部・南部は南関東有数の美し

さを誇る山里の中に、沢山の観光地、名所があります。また、ゴルフ場の数が日本一の自治体としても有名で、33箇所にゴルフ場があり、ゴルフ場利用税交付金ランキングも全国1位（6.6億円：2018年）となっております。筆者も休みの時は、ホームコースの姉ヶ崎カントリークラブに足繁く通っております。

市原市の観光を語る上で欠かせないのは、小湊鉄道です。市の中心駅であるJR五井駅から上総中野駅まで、約40kmを結びます。上総中野駅からいすみ鉄道に乗り換え、外房線のJR大原駅まで乗り継ぐ事が出来ます。通常は1～2両編成で運行されていますが、房総里山トロッコ列車と称し、その昔に小湊鉄道で活動した蒸気機

6 姉ヶ崎C.C





7



8



9



10

7 小湊菜の花 8 トロッコ列車 9 チバニアン 10 ぞうさんショー

関車を現代版で再現し、週末を中心に運行しています。

ちなみにこの蒸気機関車は、排気ガス規制をクリアしたボルボ製クリーンディーゼルエンジンを搭載しています。

この小湊鉄道沿線に、多数の観光地、名所が存在します。

まずはチバニアン。チバニアンとはラテン語で「千葉時代」を意味する単語です。難しい学術的な事を私は語れないのですが、簡単に言うと77万年前を境に、地球の磁場が逆になった事を読み取ることができる地層、だそうです。現地にはビジターセンターがあり、詳しい解説が聞けます。

養老川沿いなので長靴が必要で

すが、ご興味がある方は訪問してみたいでしょうか。養老溪谷駅の2つ手前、月崎駅が最寄駅になりますが、徒歩で30分程度かかりますので、自家用車か月崎駅からレンタサイクルが良いでしょう。

続いて、小湊鉄道高滝駅の周辺観光地を2つ紹介します。

1つ目は市原ぞうの国です。小さなお子様が居るご家庭にとっては、市原市で一番有名な場所かもしれません。

象が10頭おり、70種類の動物に会える動物園も併設されています。

象関係のアトラクションも充実しており、象の鼻にぶら下がったり、象に2千円を渡すと、象が象

のぬいぐるみを鼻に抱えて持つてくるといふ、なかなかシュールな体験をする事が出来ます。

併設するサテライト施設(サユリワールド)と合わせて「アニマルワンダーリゾウト」を構成しています。

高滝駅周辺2つ目は、高滝湖です。1990年に完成した高滝ダムによって作られた人造湖で、県内最大の貯水面積を誇ります。

湖畔には記念館や絶品ピザレストラン、水生植物園があります。

湖面に浮かぶ、かげろう?のオブジェが若干気になりますが、景色が良いのでのんびりするには最高です。

バス釣りが有名で、プロのトー



11 高滝湖夕陽 12 高滝湖昼 13 湖面のオブジェ

ナメントが行われる他、10月から2月はワカサギ釣りで賑わいます。最後にご紹介するのは、大自然を利用した様々なアクティビティを楽しむことが出来る、房総エリアを代表する温泉郷である養老溪谷です。温泉旅館、民宿が養老川沿いに十数軒点在します。

養老溪谷独特の「黒湯」の天然温泉は、ヨード分が多く、茶褐色でとろりとした体にやわらかい泉質です。ナトリウム炭酸水素塩泉で、ヤケド、リウマチなどに効果があり、美肌効果も期待できます。

養老溪谷には散策を楽しめる様々な遊歩道がありますが、養老溪谷駅から出発する場合、赤い太鼓橋（観音橋）が養老溪谷への入

り口となります。橋を渡ると出世観音（立國寺）があります。

この場所は、源頼朝が石橋山の戦いで平家軍に敗れた後に房総半島に逃れ、平家打倒を志し安房を出立する際に参詣したとされています。

さらに進んでいくと、養老川に沿って遊歩道の散策を楽しめます。

特に紅葉の時期に紅に染まった溪谷は、素晴らしい景色です。「日本一遅い紅葉」を謳い文句にしている観光地は複数ありますが、養老溪谷もそのうちの1つで、12月初旬まで紅葉を楽しめます。関東一遅い紅葉、という事しておけば間違いはないでしょう。本当に綺麗ですので、是非一度、訪れて

みては如何でしょうか。

ただし週末の車の大渋滞は必至ですので、ゆったりと小湊鉄道を利用する旅も良いかもしれません。

以上、市原市の魅力について、観光地を中心に紹介いたしました。この原稿で市原市の魅力を少しでもお伝えできていたら幸いです。まだまだ紹介しきれない素敵な場所が他にも沢山ありますので、是非市原市へご来訪ください。

今回の執筆に際し、同じ市原支部の高橋秀文先生（平成5年卒）に一部の写真を提供していただきました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

14 出世観音 15 観音橋 16 養老川遊歩道

